

第5回 阪神高速道路株式会社経営改善委員会  
議事概要

1. 日時：平成24年3月22日（木） 10:30～11:30

2. 場所：阪神高速道路株役員会議室

3. 出席者

【委員】 齋藤委員長、石原委員、正司委員、矢野委員  
川邊委員（代理：関西経済連合会地域連携部 神田部長）

4. 議事要旨

- 「議事（1）経営改善に関する提言について」について、事務局より説明。  
委員からの修正（1カ所）を反映させた後、齋藤委員長より大橋代表取締役会長兼社長に「阪神高速道路株式会社の経営改善に関する提言」が手交された。
- 手交に際して委員長から以下のようなコメントがあった。
  - 1. エビデンスを明らかにした上できちんとした議論をしたいとの委員の要望に応じて、詳細な資料を作成した会社の努力を多とする。
  - 2. 第3回委員会で関係自治体のヒアリングを行い、随意契約やグループ経営体制の見直し、情報の一層の公開などに係るご意見をいただいたが、委員としては安全性・サービスの確保などを踏まえたコスト縮減が重要であるとして、グループ経営の一層の効率化や魅力的な料金の実現などの経営課題を提言した。
  - 3. 会社においては、速やかに経営改善計画を策定し、実践に向けて鋭意取り組んでいただきたい。また、ネットワークやサービスのあり方等、地域社会全体のレベルで生じる根元的な課題にも取り組むとともに、たゆまぬ経営改善努力により社会的評価を高め、都市高速道路会社としてのサステナビリティを固めて行くことを期待する。
- また、委員から以下のとおり助言があった。
  - 1. 同じ通行料金であっても、利用者に与える負担感を少しでも減らすために、民間としての工夫があるべき。
  - 2. コスト縮減を推進するなかで、真にお客さまに届けるべきサービスとは何かを考え、守れるもの・守れないものについて議論すべき。
  - 3. 阪神高速は地域社会や物流にとって非常に重要な役割を果たしており、関西の発展のために、高速道路のあり方について今後とも議論していき

たい。

4. 建設後 6, 70 年経過したインフラ資産の維持・更新が課題。その財源をどう確保するかについて、具体的に展開する際の方策が「コスト縮減」をキーワードに具体的に記されているので、有用な提言になったと考える。

以 上